



### 基礎部門

「はじめてのおつかい 2015」  
 中学校技術・家庭科授業の基礎的・基本的な知識や技能で製作できる機構を有した歩行型ロボットによる部門。今大会から新設された部門で、2人1チームの対戦方式。1.8mのコースをロボットが往復。5秒～6秒で勝敗が決まります。コース上の2カ所に設置された厚さ4mmの障害物をくぐりぬけ、折り返し地点の電池を積んで、スタート地点に戻るまでのスピードを競います。

### 応用部門

「THE 綱引」  
 中学校技術・家庭科で学んだ知識や技能を最大限に発揮して製作されたロボットによる1対1の対戦形式。150秒間に9本のロープを自陣コートに引き込んだ本数を競います。

## 基礎部門

基礎部門に出場したのは、優勝したトリケラトプスと、大高君と橋本君のステゴザウルスの2チーム。ステゴザウルスチームは残念ながら予選敗退。トリケラトプスチームは、ロボットの操縦を園田くん、折り返しの時に電池をロボットに積むアシスタントを緒方くんが行い、息の合った動きで、予選、決勝トーナメントを5秒前後のタイムで全勝し、みごと日本一に輝きました。2人は「優勝できたのは、大会前からロボットの修理や制作のアドバイスなど1年生の僕たちを全面的にサポートしてくれた3年の江原先輩や周りのみんなのおかげです。今年12月には、町スポーツセンターで九州大会が予定されています。また日本一になれるようがんばります」と2年連続日本一を誓いました。



左から園田崇人くん、緒方陽衣路くん、江原宇恭くん、大高綾太くん、橋本知政くん  
 (1年) (1年) (3年) (1年) (1年)



全国大会に出場した部員たち

## 基礎部門で日本一

第16回全国中学生創造ものづくり教育フェア 創造アイデアロボットコンテスト全国大会

## 応用部門

応用部門には「SPEC」が出場。3年生5人と2年生1人の6人チーム。ロボットは、夏休み前から製作し、県大会の1週間前に完成。改良を重ね、全国大会には4代目のロボットで挑戦しました。最後の大会となった3年生は、「予選では配線が切れるトラブルがあったが、チームが一丸となって対処し予選突破できました。僅差で負けてベスト16だったが、最後まで仲間と楽しく試合ができてよかった。来年は優勝できるよう、頑張ってもらいたい」と後輩たちにエールを送りました。



左から八並新くん、本田颯汰くん、上野顕司くん、赤木玲雄哉くん、村崎峻くん、塚本博之くん  
 (3年) (3年) (3年) (3年) (3年) (2年)



優勝した緒方くん(左)と園田くん(右)

1月23日、24日に東京都武蔵野市で開催された、第16回全国中学生創造ものづくり教育フェア 創造アイデアロボットコンテスト全国大会。御船中学校(河田知治校長、414人)ものづくり部は、応用部門1チーム、基礎部門に2チームが出場しました。

大会は、今大会より新設された基礎部門に出場した、園田崇人くんと緒方陽衣路くんのチーム「トリケラトプス」が優勝。基礎部門日本一に輝きました。また、応用部門でもベスト16入りを果たしました。



### 御船中学校ものづくり部

部員33人(3年生9人、2年生12人、1年生12人)

顧問は、鹿釜良一教諭と宗小百美養護教諭。全国大会には平成15年から10年連続、平成27年までに計11回出場。うち、3度の日本一(応用部門)に輝く。